

第37回秋田県教育研究発表会について

関係各位

秋田県総合教育センターでは、本県教育の振興を目指して、県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、教育機関等における教育研究成果の普及・交流を図るために、次のとおり教育研究発表会を開催いたします。

つきましては、多数の御参会を賜りたく、御案内いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催方法を変更する場合がございます。予め御了承ください。

令和4年12月

秋田県総合教育センター所長

第37回 秋田県教育研究発表会の御案内（第二次案内） ～ 郷土あきたの教育への提案 ～

- 主催 秋田県教育委員会、秋田県総合教育センター
- 期日 令和5年2月2日（木）
- 会場 秋田県総合教育センター
- 日程概要

9:00	9:30	9:45	10:40	11:00	12:10	13:00	14:10	14:30	16:15
受付	開 会 式	センター 研究発表	移 動	口頭発表①②	昼食 休憩	口頭発表③④	移 動	講 演	

※当センター内の食堂は営業しておりません。昼食は各自で御準備ください。

〈 講 演 〉

日時 令和5年2月2日（木） 14:30～16:15

講師 独立行政法人教職員支援機構理事長

中央教育審議会初等中等教育分科会長 荒瀬克己氏

演題 子どもを主語にする学校をめざして ～学習指導要領と令和答申から～

プロフィール

京都市立堀川高等学校長、京都市教育委員会教育企画監、大谷大学文学部教授、関西国際大学学長補佐、兵庫教育大学理事等を経て現職。中央教育審議会副会長、初等中等教育分科会長、「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会、大学改革支援・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会等の委員を務める。「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月26日）において、一人一人の子供を主語にする学校の実現についての方策の取りまとめに尽力した。著書に『奇跡と呼ばれた学校』（朝日新書）、『「アクティブ・ラーニング」を考える』（共著、東洋館出版社）等。「月刊高校教育」（学事出版）にコラムを連載。



5 研究発表

本会では、教育現場での汎用性がある研究発表を基本とし、「提案を基調とする内容」となるもので、口頭発表形式により行われます。別添の「研究発表一覧」を御覧ください。

※後日、各研究発表の「提案のポイント」を当センターウェブサイトにて公開します。

6 参加申込み

当センターウェブサイトから「教育研究発表会参加申込書」をダウンロードし、電子メールで下記宛にお送りください。申込みを受け付け次第、担当から確認のメールを返信します。

1週間以内に返信がない場合は、お手数ですが担当まで電話で連絡をお願いします。

〈 参加申込先 〉	E-mail: sanka@akita-c.ed.jp (参加申込み担当 加藤 しおり)
〈 申込締切日 〉	令和5年1月19日(木)
〈 電話番号 〉	018-873-7215 (支援班 特別支援教育担当)

7 会場・交通案内

【JRを利用する場合】※特急は停車しません。

奥羽線もしくは男鹿線

秋田駅 → 追分駅 (各駅停車・15分)

追分駅より 徒歩約20分/タクシー約5分

【バスを利用する場合】※本数が限られています。

秋田駅西口バスターミナル④番乗り場

「101 追分線 天王グリーンランド行き」

秋田駅西口 → 「追分西」(約40分→徒歩5分)

「104 追分線 県立大学行き」

秋田駅西口 → 「教育センター前」(約40分→徒歩1分)



【自家用車を利用する場合】

秋田自動車道 上り方面 昭和男鹿半島ICより7.5km (約18分)

下り方面 秋田北ICより9.0km (約20分)

※当センターの駐車スペースに収容しきれないことも予想されますので、できるだけ相乗りでの来場をお願いします。近隣商業施設等への駐車は御遠慮ください。

8 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催方法を変更する場合がございます。当センターウェブサイト内「秋田県教育研究発表会」のページを定期的に御確認ください。
- (2) 当センター内の食堂は営業していません。昼食は各自で御用意ください。なお、昼食会場として食堂を開放します。

第37回秋田県教育研究発表会に関する問合せ先

E-mail: happyou@akita-c.ed.jp (担当 阿部 智博、藤谷 寛)

電話番号: 018-873-7203 (教科・研究班)